



補欠ゼロリーグは、キッズ年代（10歳以下）の子供たちに『年間を通して定期的に試合ができる環境』を提供するため、2004年にスタートした岩手県独自の取り組みです。
才能を埋もれさせず、ひとりでも多くの子供たちがサッカーへの関心を持続してくれることを目的としています。

- 【主催】 (社)岩手県サッカー協会
- 【主管】 (社)岩手県サッカー協会 キッズ委員会 11地区
- 【運営】 各地区キッズ担当者、指導者、JFA公認キッズリーダー、保護者の方々
- 【対象】 少年団やクラブチームに所属する小1～小4の児童および準ずる児童で、傷害保険に加入していること
- 【内容】 2002年にJリーグ・アカデミー（当時プロジェクトリーダー山下則之氏）が提唱した『補欠ゼロ～参加するすべての子供たちに均等に試合の機会を提供する』の考え方を基本に、原則として少年団対抗ではなく、集まった子供たちを混成シャッフルして4～5人制の即席チームに分けて、その日限りのリーグ戦をおこないます。
 - ◆混成するので団員1人での参加も大丈夫
 - ◆試合には常にレギュラー選手としてフル出場
 - ◆4～5人制でボールに関わるチャンスが多い
 - ◆混成・即席チームの中でプレーすることで社会性を養う



花巻地区 (U-8)

日時会場 : 2012年12月22日(日) 8:30～12:30 花巻市生涯学園都市会館(まなび学園)・体育館
 参加人数 : 35名【小1 13名、小2 22名】
 運営統括 : 阿部 睦春 (花巻地区キッズ担当、花巻銀河)

【小1】 8:40～10:30 「開会式」



「ウォーミングアップ」 たくさんの人と、手でボールをパス交換。



「ウォーミングアップ」 たくさんの人と、足でボールをパス交換



「試合のようす」 シュート練習のあとは、いよいよ試合開始です。



◆ ウォーミングアップは、パス交換のほかにしっぽ取りもおこなわれました。トレーニングは、ステップワーク付きのシュート練習です。



- ◆ チーム分けは、5人・4人・4人。4人のチームにはコーチが1名混ざりました。
- ◆ 試合は、基本的にフロアを半分にして2コートでおこない、最後に全面フルコートで数試合おこないました。



【小2】 10:40~12:30

「受付のようす」



「ウォーミングアップ」



- ◆ 花巻地区では、小1、小2どちらも参加料は毎回ひとり100円です。登録制にしているため、選手名簿があります。
- ◆ ウォーミングアップは、パス交換、ボールを隠して守る。トレーニングは、ドリブルワーク付きシュート練習です。

「試合のようす」



【運営統括者コメント】

- ◆ 今回は参加人数が少なかったですが、その分、全員がまとまり集中して活動できました。
- ◆ トレーニングのオーガナイズについては、今後さらに良いものを提供していきたいです。
- ◆ 通常はフロアを半分にした 2 コートでの試合ですが、今回は全面フルコートでもおこないました。ダイナミックにプレーできていたのでよかったです。
- ◆ コーチが試合に参加し、声掛けやプレーで良い刺激を与えることができたと思います。

【運営統括】阿部 睦春（花巻地区キッズ担当、花巻銀河）

【注意】 体育館の屋根から大量の雪が落ちてくる場合があります。体育館外側では屋根の下を絶対に歩かないでください。体育館の階段下シャッターが閉じているときは、校舎のドアから入り、廊下を歩いて体育館へ向かってください。

【報告・編集】鎌澤 和之（岩手県サッカー協会 キッズ委員会）